

## 子ども誰でも通園制度について

課題と取組について。

施に向け、例規等の整備や、民間施設との調整等の準備を進めている。

保健福祉部長 令和8年度から実施となる事業のため、利用者数の見込推計や、制度の詳細に未定の部分が多く、実施を検討している施設との調整、全国的に保育士が不足している状況の中で、事業を実施するための人材の確保があげられる。

本市においても事業実

## 資源ごみの回収について

今後の対応について。重い青いかごの改善も要望します。

経済環境部長 筑西広域市町村圏事務組合の構成3市は、プラスチック資源の分別収集を8年10月から予定している。

## 県内での学校給食費無償化は44市町村中24市町村が実施中

プラスチック資源は品目ごとに分ける必要はなく、全て30Lから45Lの透明袋にまとめて入れて出すことができる。

収集は、可燃ごみと重なることがない毎週水曜日を予定している。

## 学校給食費の無償化について

学校給食費無償化の実施、重点支援交付金の活用について。

市長 保護者の経済的負担の軽減を図る上で大変有効であり、徹底子育て支援の趣旨に合致するものと考えている。

今後、重点支援地方交付金の活用可否や、国による小学校給食費無償化の制度化など、国の動向をしっかりと注視し、本市を取り巻く社会情勢などを総合的に勘案しながら早急に判断していく。

## 不登校の現状と課題について

## 本市の現状と今後について。

教育部長 国や県が公表している不登校出現率と比較すると、本市の出現率は低く抑えられている。様々な施策を改革、改善しながら、発展的に継続し、個別最適な学びを保障していきたい。



結城市でも早く実現を



平 陽子  
(たいら ようこ)

録画映像  
はこちら

